

バドミントン競技普及事業について

砥部町教育委員会 社会教育課

1 はじめに

砥部町では、えひめ国体の開催競技がバドミントン競技に内定したことをきっかけに平成21年度から砥部地区小学校バドミントンクラブ指導講師派遣を行っている。当初はえひめ国体に向けてバドミントンに対する町民の関心を少しでも高めるために行っていた事業の一つではあるが、えひめ国体開催後も高まった関心を一過性のものにすることなく現在も実施している。



【指導講師による指導風景】

2 事業の内容

町内砥部地区にある小学校3校のバドミントンクラブに町内在住の指導講師を派遣している。現在派遣は6名（男1名、女5名）で、2人1組で年間を通して派遣している。

《各校別バドミントン指導講師派遣年間実績》

単位：回

学校名・年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
砥部小学校	6	3	5	6	13	14	15	15	15	15	13
宮内小学校	7	5	4	5	12	13	14	14	12	13	12
麻生小学校	8	8	11	10	10	10	12	12	12	11	10

3 成果と課題

バドミントンクラブは、活動の定員を超える希望者があり大変人気がある。限られた時間の中で指導講師が創意工夫を凝らし効果的な指導を行うことで児童たちは楽しみながら確実に技術が向上している。また、指導を受けた児童は、さらなる技術の向上を目指し一人一人が主体性のある練習に取り組んでいる。このクラブ活動によって中学校ではバドミントン部に入部し、本格的に競技に打ち込む生徒も多い。（平成24年度創部のバドミントン部に現在約20名が所属）

これらの取組によって近年、町スポーツ協会へのバドミントン団体の加入が増え着実にバドミントン人口が増加し「バドミンソンの町 砥部町」に一步一步近づいていると感じている。

課題としては、現在の指導者が高齢化しており事業継続のためには町スポーツ協会と連携・協働し新たな指導者を育成する必要性が生じている。